

つなぎ役の果たす役割と支援策について

つなぎ役に求められる役割

※ 3か年報告書P32 表2:つなぎ役が行うべき役割一覧

- (ア) 地域や分野において、コミュニティのポータル構築のために、メタデータの集約と共有を推進すること
- (イ) メタデータフォーマットの標準化や用語の統制等、メタデータの整備とオープン化を推進すること
- (ウ) デジタルコンテンツ等の二次利用条件の整備やデジタルコンテンツそのもののオープン化も推進すること
- (エ) 所蔵資料や収蔵品等をデジタル化するための技術や法務上の業務を支援すること
- (オ) コンテンツの長期保存や永続的アクセス保証へ協力すること
- (カ) 意識啓発や人材育成を推進すること
- (キ) 利活用促進のための取組を推進すること

(参考1) ジャパンサーチのつなぎ役のタイプ

※ジャパンサーチWG(第2回) 資料2より抜粋

分野・地域コミュニティの「つなぎ役」経由の連携(例)

- ① 同分野・地域内のアーカイブ機関のデータベースをまとめるポータルを構築



(事例)

- ・文化遺産オンライン(文化庁)
- ・S-Net(国立科学博物館)
- ・NDLサーチ(国立国会図書館)
- ・Japan Content Catalog(VIPO)

- ② 同じ組織内の複数機関のデータを集約したデータベースを構築



(事例)

- ・CoIbase(国立文化財機構)
- ・nihulINT(人間文化研究機構)
- ・国立美術館所蔵作品総合目録検索システム(国立美術館)

- ③ 同じ分野・テーマの資料をさまざまな団体又は個人から集約したデータベースを構築



(事例)

- ・放送ライブラリー公開番組DB(放送番組センター)
- ・「にいがた地域映像アーカイブデータベース」(新潟大学)
- ・「魚類写真資料データベース」(国立科学博物館、生命の星・地球博物館)

- ④ データ集約は行わないが、つなぎ役としてアーカイブ機関への情報提供、事務手続き、メタデータ標準化等をサポート



(事例)

- ・全国美術館会議経由で、愛知県美術館、東京富士美術館等と連携

【Aタイプ】

【Bタイプ】

【Cタイプ】

【Dタイプ】

(参考2) つなぎ役に関する3か年報告書の記載

(つなぎ役に求められる役割)

※3か年報告書32Pより抜粋

ジャパンサーチと連携するだけであれば、①ジャパンサーチに提供するメタデータの取りまとめ又はメタデータフォーマットの標準化と②ジャパンサーチに提供されたデータの取扱いに関する文書取交しの窓口の少なくとも2点を行うことでつなぎ役の役割を果たすことは可能である。一方、つなぎ役のハードルを下げるてもつなぎ役となるメリットが見いだせないため、分野・地域の代表として位置付け、メタデータ集約を正式な業務とした方が良い、との意見があった。

(アーカイブ機関との役割分担)

※3か年報告書33Pより抜粋

つなぎ役は一つの機関が全ての役割を担う必要はない。（中略）特に地域のつなぎ役については、地方自治体が主体的に推進することが重要であり、社会教育施設や大学の役割と併せて考えていくという観点も必要との意見があった。現状、地域におけるつなぎ役となり得るのは、地域における規模の大きな図書館や大学等のアーカイブ機関であり、さらにつなぎ役のすそ野を広げるのであれば、複数の機関によるアライアンスを形成することも考えられるのではないかとの意見があった。

■ 論点

(1) つなぎ役の役割の明確化について

- つなぎ役の役割をさらに細分化したタスクとしてどのようなものが考えられるか。ジャパンサーチにおけるつなぎ役のタイプ毎にどのような対応状況となっているか。
- つなぎ役の役割について、ジャパンサーチとアーカイブ機関の連携を担う役割（役割ア～ウ）と、分野・地域のデジタルアーカイブ構築・共有・活用の推進を担う役割（役割エ～キ）とに分けて、検討すべきではないか。前者については、ジャパンサーチの連携先の拡充等の観点から、ジャパンサーチワーキングで議論することとし、本ワーキングでは、後者に焦点を当ててはどうか。

(2) 分野・地域のデジタルアーカイブ構築・共有・活用の推進を担う役割について

- つなぎ役は一つの機関が全ての役割を担う必要はないことから、それぞれの機関が可能な範囲で役割を担ってもらうことが重要ではないか。とりわけジャパンサーチと連携している国の機関については、それぞれの分野における意識啓発や人材育成に優先的に携わっていただくことはできないか。
- アーカイブ推進の役割を担う機関の役割呼称は、「つなぎ役」のままでよいか。

(参考) 資料2-1 関係省庁におけるデジタル化支援制度一覧

■つなぎ役のタスクと対応状況（案）

○：各タイプに該当するすべての機関が着手していると思われる
 △：着手機関と未着手機関が混在していると思われる
 -：各機関が未着手と思われる

役割	タスク（案）	A タイプ	B タイプ	C タイプ	D タイプ
(ア)メタデータの集約と共有	・アーカイブ機関のメタデータの集約や、地域・分野等のメタデータ流通の取り纏めを行う	○	○	○	-
(イ)メタデータの整備（フォーマットの標準化、用語の統制等）およびオープン化促進	・連携フォーマット及び利活用フォーマットの利用と普及を行う ・メタデータのCC0表示を自ら行い、推奨する	○ ○	○ ○	○ ○	○ △
(ウ) 二次利用条件の整備およびデジタルコンテンツのオープン化促進	・原資料及びデジタルコンテンツの権利者との利用許諾合意を得る ・PDM・CCライセンス等の表示や情報提供ページのリンクの表示を自ら行い、促進する	○ ○	○ ○	○ ○	- △
(エ)デジタル化するための技術や法務上の業務を支援	・ノウハウの保持と共有を行う ・アーカイブ機関からの相談窓口業務を行う	○ △	○ △	○ △	- ○
(オ)長期保存や永続的アクセス保証への協力	・情報システムやデータの定期的なマイグレーション及びバックアップを行う ・安定的な運営体制と人的財政的技術的リソースを確保する ・デジタルアーカイブの維持が困難になった機関のデジタルアーカイブを引受できるよう準備をする	○ ○ -	○ ○ -	○ ○ -	- - -
(カ)意識啓発や人材育成	・デジタルアーカイブの目的や意義を内外に啓発する ・管理部署または管理担当者を配置する ・他機関との連携、講習会等の開催、インターンシップ制度等を検討・実施する	○ ○ △	○ ○ -	○ ○ △	○ ○ △
(キ)利活用促進のための取組	・データの使い方や好事例を具体的に示す ・利活用者とコミュニケーションし、コミュニティを主導しつつ、利活用を促す ・利活用事例をSNS等で広報する	○ △ ○	○ - -	- - -	- - -

(参考3) つなぎ役が明確でない分野

※ジャパンサーチWG (第2回) 資料2より抜粋 一部修正

※データ件数は概数

連携済

一部連携済

連携調整中

つなぎ役が明確でない領域

	国の機関	公立・公共	私立・民間
書籍等	<p>「国立国会図書館サーチ (NDLサーチ)」(国立国会図書館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館が収集・保存する資料のデジタル化資料: 278万件 ・NDLサーチの連携機関(都道府県立図書館、大学図書館、民間デジタルアーカイブ等)が提供するデジタル化資料: 16.9万件※追加調整中 ・国内出版物の書誌情報: 592万件 ・日本関係外国語図書の書誌情報(試行版): 9,500件 		<p>つなぎ役が明確でない領域</p>
公文書等	<p>「国立公文書館デジタルアーカイブ」(国立公文書館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立公文書館所蔵の公文書等: 360万件 <p>その他、国立公文書館等 15館</p>	<p>都道府県立・市町村立公文書館 和歌山県立文書館</p>	<p>私立・民間のアーカイブズ</p>
文化財	<p>「文化遺産オンライン」(文化庁) 国指定文化財 13万件</p> <p>「ColBase」(国立文化財機構) 国立博物館収蔵・寄託品: 134万件</p> <p>「文化財動画ライブクリー」(国立文化財機構)</p>	<p>地方指定文化財</p> <p>都道府県立・市町村立博物館・美術館等</p>	<p>私立・民間の博物館・美術館等</p> <p>「東京富士美術館収蔵品DB」 ※全美経由</p> <p>「写真原版DB」 (日本写真保存センター) 6,800件</p>
美術	<p>「国立美術館所蔵作品総合目録検索システム」(国立美術館)</p> <p>国立美術館4館の所蔵作品 4.1万件</p> <p>「アートコモンズ」(国立美術館) 日本国内で開催された展覧会の情報 約4.5万件</p>		
地域		<p>都道府県の「信州デジタルコモンズ」(長野県) アーカイブ 「三重の文化・歴史DA」(三重県)</p>	<p>私立・民間の地域アーカイブ</p>
メディア芸術	<p>「メディア芸術データベース」(文化庁) ゲーム、マンガ、アニメ、メディアアートのデータベース 479万件</p> <p>「日本アニメーション映画クラシックス」 [映像でみる明治の日本] (国立映画アーカイブ) 8万件</p> <p>文化庁「日本映画情報システム」 4.7万件 (映倫審査作品)</p>	<p>都道府県立・市町村立博物館・美術館等</p>	<p>RCGS Collection (立命館大学ゲーム研究センター)</p> <p>Japan Content Catalog(VIPO) 6.9万件</p> <p>「演劇資料総合データベース」 (早稲田大学演劇博物館) 300件</p>
舞台芸術			
自然史・理工学	<p>「S-Net」(国立科学博物館) 標本資料 450万件</p> <p>「古地図コレクション」(国土地理院) 1,500件</p> <p>「蚕繭錦糸コレクション」(東京農工大科学博物館) 400件</p>	<p>「魚類写真資料データベース」 (国立科学博物館・水族館) 魚類写真 10.8万枚</p> <p>命の星・地球博物</p>	<p>都道府県立・市町村立科学博物館等</p> <p>私立・民間の科学博物館等</p> <p>「南方熊楠記念館資料」 約1,000点</p>
人文学	<p>「人間文化研究機構統合情報検索システムnihuiINT」 (人間文化研究機構)</p> <p>人間文化研究機構5機関のデータ 214万件</p>	<p>人文学関係のコレクションを有する大学、研究機関、地方自治体等</p>	<p>「ARC古典電子データベース」 「ARC浮世絵データベース」 (立命館大学ARC) 28.2万件</p> <p>デジタル版「実験論語 妙世談」等(波沢栄一記念館) 約200件</p>
学術資産	<p>「東京大学学術資産等アーカイブズポータル」(東京大学) 14万件</p> <p>「京都大学研究資源アーカイブ」 (京都大学) 100件</p>	<p>学術資産を有する大学、研究機関、地方自治体等</p>	
データセット	<p>「データカタログサイト」(総務省行政管理局・内閣官房IT戦略室) 府省庁のデータセット 2.6万件</p>	<p>地方自治体(都道府県、市町村等)の公共データ</p>	<p>私立・民間のデータセット</p>
放送番組		<p>「動画で見るニッポンみちしる」 (NHK) 4,000件</p>	<p>「放送ライブラリー公開番組DB」 (放送番組センター) ドラマのデータ 3,000件</p>